

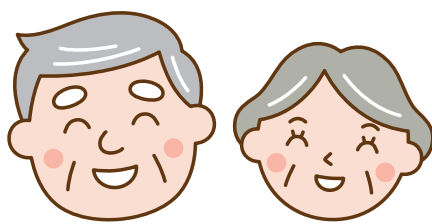
小売業編

# 認知症にやさしい まちづくりガイド

～小売業スタッフのための見守りマニュアル～



福岡市



## 認知症とともに生きる人はこれから増えていきます

厚生労働省研究班の報告(2024年)によると、2040年時点の認知症患者数は約584万人にのぼると推計されており、65歳以上の約7人に1人が認知症になると予測されています。

## 福岡市認知症フレンドリーシティ・プロジェクト



福岡市は、人生100年時代の到来を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく活躍できる社会を目指す「福岡100」の取り組みのひとつとして、認知症フレンドリーシティを宣言し、認知症になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまちの実現に向け、様々な取り組みを進めています。

主な取り組みとして、認知症コミュニケーション・ケア技法ユマニチュード®の地域や企業、児童生徒等への講座や、認知症の人にもやさしいデザインの導入促進などがあります。

詳しくは、福岡市のホームページから「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」をご覧ください。



認知症  
フレンドリーシティ・  
プロジェクト  
(福岡市ホームページ)

## パンフレット作成の趣旨について

このパンフレットは、高齢者の日常生活に関わる機会が多い生活関連企業の一つである小売業の皆様に向けて作成しました。

小売業の皆様へ、認知症への正しい理解と適切な対応について理解を深めていただき、可能な範囲で地域における見守りの一翼を担っていただければ、認知症の人が穏やかに生活を継続するための大きな支えとなります。

このパンフレットを各店舗での対応のヒントとして活用していただければ幸いです。

# I. 認知症を正しく理解する

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が壊れてしまったり、働きが悪くなって脳の司令塔に不都合が生じたりすることで、記憶力や判断力などにさまざまな障害が起きている状態です。

## 認知症の症状

認知症の症状は、大きく二つに分けることができます。

### 中核症状

脳の機能が低下することで直接的に現れる症状です。

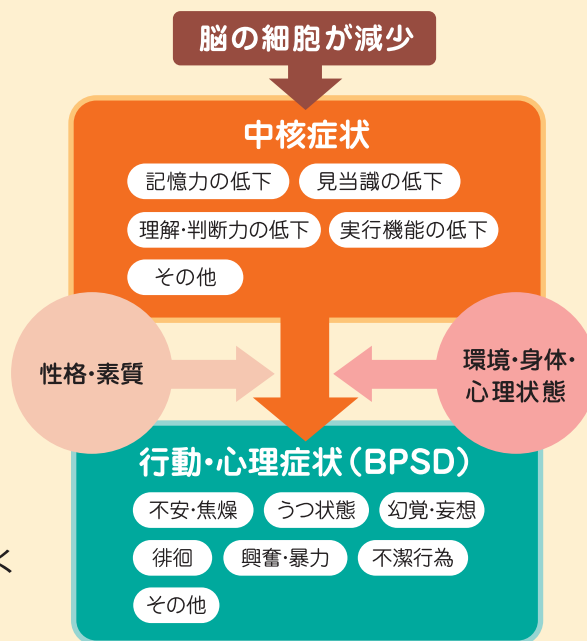
- さっき聞いたことを忘れる（記憶力の低下）
- 今がいつで、ここがどこかわからなくなる（見当識の低下）
- 理解力・判断力の低下など

### 行動・心理症状（BPSD）

中核症状に、本人の性格や生活環境、その時の心の状態などが影響して引き起こされる症状です。

- 不安や気分の落ち込み ●とまどいやいらだち ●怒りなど
- ただし、これらの症状は、周囲の人の対応によって、落ち着くことがあります。

症状の応じた対応の仕方は、5ページをご参照ください。



参考: 出典『認知症サポーター養成講座標準教材』

## 認知症の種類

認知症は原因によって、いくつかの種類がありますが、代表的なものは

- アルツハイマー型認知症 ●脳血管性認知症 ●レビー小体型認知症 ●前頭側頭型認知症
- の4つで、そのうち最も多いのはアルツハイマー型認知症です。

また、認知症は、高齢者特有の病気と思われがちですが、働き盛りの年代でも認知症になることがあります。それが「若年性認知症」と呼ばれるもので、18～64歳という比較的若い年代にみられる認知症の総称です。詳しくは、「福岡市認知症ハンドブック」をご覧ください。



福岡市認知症  
ハンドブック

### コラム Column

### 福岡市認知症フレンドリーセンター

福岡市認知症フレンドリーセンターでは、認知症に関する相談や様々な情報発信を行っています。センターには、「若年性認知症支援コーディネーター」が配置されています。

問い合わせ先

福岡市認知症フレンドリーセンター

福岡市中央区舞鶴2丁目5-1 あいれふ 2階 TEL.092-791-9115



福岡市認知症  
フレンドリー  
センター

## Ⅱ. 認知症の人への対応の心得

認知症の人への対応は **驚かせない** **急がせない** **自尊心を傷つけない** が基本です。

参考：出典「認知症サポーター養成講座標準教材」



### 相手から見えるところで 声をかける(後ろから声をかけない)

高齢になると視野が狭くなりますが、認知症になるとより狭くなります。認知症の人の視野は、右のイラストのように、左右の手で筒状の輪を作って目に当てた状態だと言われています。相手の視野に入ったところで、まずはあいさつをして、声をかけましょう。

★認知症の人の見え方を  
体験してみましょう。



### 話をするときはまずは1人で

知らない人に大人数で取り囲まれると誰でも不安や恐怖を感じます。また、複数人で話かけると混乱してしまう場合があるので、話をする時はまずはどなたか1人が話すようにしましょう。

複数人でお話を聞く場合、同席する職員の方にも「安心安全な雰囲気づくり」のため「穏やかな表情で傾聴すること」に協力してもらいましょう。



### 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

相手の立場に立ち、共感しながら理解しようとしたり、否定せずに話を聞くことが大切です。「私の話を聞いてくれる人」という印象は「安心」や「安全」という気持ちにつながり、混乱や興奮が落ち着くこともあります。



Point

## 目の高さを合わせ、優しい口調で

目の高さを合わせ、優しい口調を心がけます。一生懸命なあまり強い口調になると「怖い」などの嫌悪感を与え、そのあとのコミュニケーションがとりづらくなります。



Point

## 低めの声ではっきりとした話し方で

高齢になると耳が聞こえにくくなる人もいます。特に高音域が聞き取りにくくなります。少し低めの声で、一言一言ははっきりと話しましょう。



Point

## 自然な笑顔で対応する

落ち着いて、自然な笑顔で接しましょう。こちらがイライラすると、その焦りや動揺が相手にも伝わり、混乱させてしまうことがあります。



### 認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」

認知症の人とのコミュニケーションの考え方と技術については、「ユマニチュード®」講座で学ぶことができます。

詳しくはこちら→



### 認知症当事者の気持ち



福岡市認知症  
オレンジちゃんねる



認知症のご本人への  
インタビュー※

- 物忘れがあることで不安な思いがあります。
  - ・自分に自信がもてない
  - ・失敗をとがめられたくない
  - ・自分が認知症だと気づかれたくない
  - ・周りに迷惑をかけたくない
- 相手がどんな思いで対応されているか敏感に感じています。

※出典: 令和2年度老人保健健康増進等事業 認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドラインの普及や活用実態および事前の意思表示のあり方に関する調査研究事業

## 認知症の症状と対応の心得(例)

|               | 認知症の症状                                                                                                                               | 心がけること                                                                                                |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中核症状          | <b>①記憶力の低下</b><br>○新しいことが覚えられない、少し前にしたことをすっかり忘れる<br>●買ったことを忘れて毎日同じものを買う<br>●言われたことをすぐに忘れてしまい、何度も聞く                                   | ●問い詰めない、もの忘れを指摘しない<br>●本人の言葉を否定せずに受け止める                                                               |
|               | <b>②見当識の低下</b><br>○現在の年月日や今いる場所、季節、人との関係などを把握できなくなる<br>●今が何月何日かわからなくなる<br>●予定時間や約束時間の感覚がつかめない<br>●慣れている場所で迷子になる                      | ●笑顔でやさしく声かけをする<br>「いかがされましたか」<br>「お手伝いしましょうか」<br>「少し休みませんか」など                                         |
|               | <b>③理解・判断力の低下</b><br>○考える・判断することが苦手になる<br>●返事に時間がかかる<br>●二つ以上のことを同時に言われても頭に入りにくい<br>●自動販売機や交通機関の自動改札、金融機関等のATM、スーパーのセルフレジの操作がわからなくなる | ●急かさない<br>●二つ以上のことを伝える時は、一つずつ内容を区切って話す<br>●念を押すように長々と説明しない<br>●やさしく手助けをする<br>「いかがされましたか？お手伝いしましょうか」など |
|               | <b>④実行機能の低下</b><br>○計画を立てたり、段取りを立てたりすることが苦手になる<br>●段取りがスムーズにできない<br>●簡単な計算や小銭の支払いができない                                               | ●やさしく声をかける「お手伝いしましょうか」など<br>●次に何をしたらいいか、一つ一つの動作を細かく説明する                                               |
| 行動・心理症状(BPSD) | <b>○不安・焦燥感</b><br>●自信を失い、面倒になる<br>●意欲や気力が減退したように見える                                                                                  | ●恥をかかせたり、自信を失わせるような対応をしない<br>●やさしく手助けをする                                                              |
|               | <b>○興奮・暴力</b><br>●話をしている最中に突然怒り出す                                                                                                    | ●「何か失礼をしたようですが…」など、ゆっくり穏やかに対応する<br>●対応する人を代える<br>※専門家への相談が必要となる場合もあります                                |

参考：出典『認知症バリアフリー社会実現のための手引き』

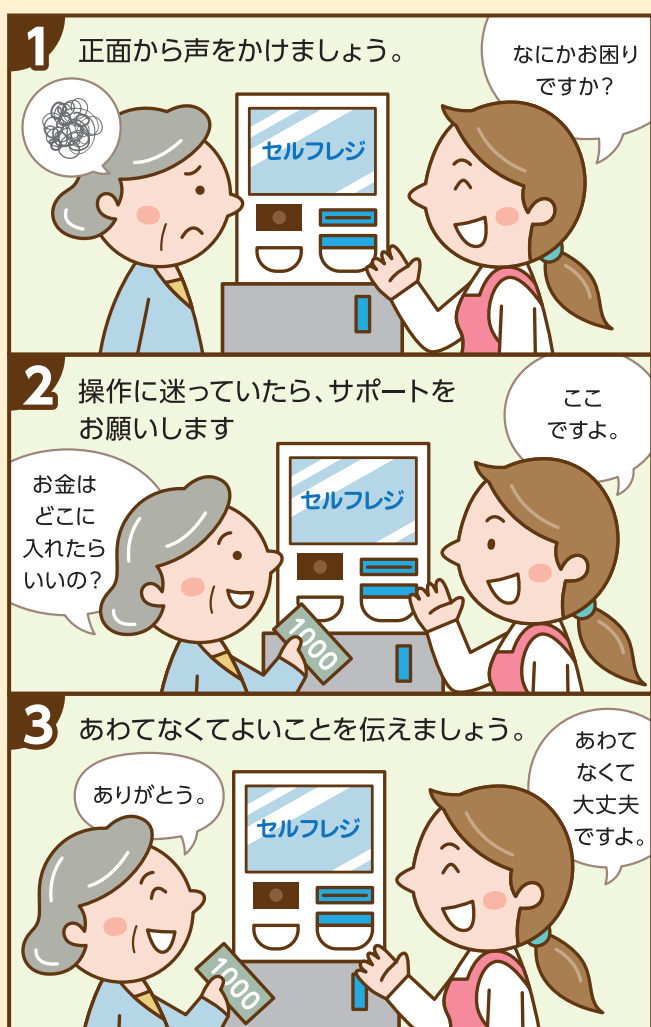
対応にお困りの場合は、ご本人のお住まいの地域の「いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」にお気軽にご相談ください。詳細は、13ページをご参照ください。

## Ⅲ. 認知症の症状の具体例と対応

### セルフレジの操作に戸惑っている

こんなことはありませんか？

・セルフレジの操作が分からず迷っている



#### なぜこのような行動がみられるのか

- セルフレジの操作は認知症の方に限らず、不慣れな人は操作に迷うものです。認知症の方は、視野が狭くなったり、色覚（色を見分ける力）が低下している場合があるため、タッチパネルの指示が見えにくかったり、どこをタップすれば良いのか、どこに現金を入れたら良いのか分からず、迷っていることがあります。



#### 対応のポイント

- 会計ができていないようであれば、「なにかお困りでしょうか？」と声をかけて、操作のサポートをお願いします。
- 焦ったり、混乱している様子があれば、「あわてなくても大丈夫ですよ」と声をかけて、余裕を持った対応をお願いします。



#### 認知症の人の声

「認知症のご本人へのインタビュー」動画には、普段の生活の中で困ること、認知症になっても続けていきたいことなどがご本人の言葉で語られています。

出典：令和2年度老人保健健康増進等事業 認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドラインの普及や活用実態および事前の意思表示のあり方に関する調査研究事業



認知症のご本人へのインタビュー

# 支払いをせずにお店を出た・会計前の商品を食べてしまう

こんなことはありませんか？

- ・会計をせずにお店の外に出ていこうとする
- ・陳列台の商品を突然食べ始める

## 1 優しく正面から声をかけましょう。



## 2 支払いが必要なことを確認しレジへ案内しましょう。



## 3 お金を持っていない場合には家族や相談機関に連絡します。



## なぜこのような行動がみられるのか

- 認知症の人は、判断力が低下している場合や、社会的規範を守ることが難しくなるタイプの認知症（前頭側頭型認知症）で「欲しい」、「食べたい」という衝動を抑えることができない場合があります。
- また、商品はレジでの支払いが必要であることを認識できない場合や、商品を自分のものと思い込んでいる場合もあるようです。



## 対応のポイント

- 穏やかな口調で支払いが必要なことを伝えましょう。
- 本人や周囲のお客様に配慮が必要な場合は、人目から離れた場所か別室にご案内しましょう。
- 犯罪の可能性が低い場合は、すぐに警察を呼ぶのではなく、家族や相談機関へ連絡し、本人や家族に配慮した対応をしましょう。



## 豆知識

「福岡市認知症オレンジちゃんねる」は、認知症の本人や家族、地域住民や企業が、認知症に関する必要な情報を探しやすいよう整理されたホームページです。福岡市認知症ライフサポートワーカーをはじめとする支援者が中心となって作成しています。相談窓口、制度の紹介、望ましい対応の動画などが掲載されています。



福岡市認知症  
オレンジちゃんねる

# 同じ商品を何度も購入する

こんなことはありませんか？

- ・1日に何回も同じものを買っていく
- ・同じ商品を毎日のように購入する(日用品など)

## 1 購入を否定せずに対応をお願いします。



## 2 やさしく、何度も購入していることを伝えましょう。



## 3 必要があれば、家族に連絡をします。



## アドバイス

返品できる状態であった場合、返品手続きの案内をしていただけると、家族の負担も軽減されるかもしれません。連絡がついた時には、家族に事情を説明して、意向を確認しましょう。返品の対応については取り決め(破損がない、レシートがあれば対応可能など)を作っておくとよいでしょう。

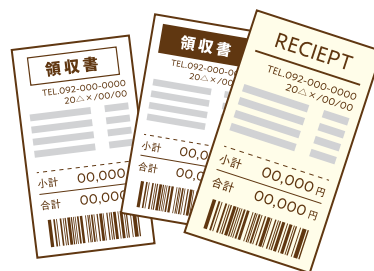
## なぜこのような行動がみられるのか

- 認知症によって記憶障害が引き起こされ、新しいことを覚えられない、少し前の出来事を思い出せないという症状が現れます。
- 買い物したことを忘れてしまい、何度も買い物を繰り返すことがあります。



## 対応のポイント

- 認知症の当事者の方のお話では、『これは昨日買ったからいいか』という感覚がないこともあるそうです。心理的な不安や混乱につながらないように、無理に購入を妨げないようにしましょう。
- ひとり暮らしと思われる場合は、今後の支援が必要な方かもしれませんので、お近くのいきいきセンターふくおかに相談してみましょう。



## 急に怒り出した(興奮した・言っていることを理解してもらえない)

こんなことはありませんか？

・通常通りに接客していたところ、急に人が変わったように怒り出す



### なぜこのような行動がみられるのか

- 記憶障害や見当識障害、理解・判断力の低下などにより、周囲の状況を正確にとらえることができなったり、言葉は聞こえていても意味が理解できずに、不安やイライラが表に出てしまうことがあります。



### 対応のポイント

- 説得しようとしたり、理解してもらおうとすると、焦りや不安をあおってしまうことにつながります。
- 他のお客様から少し離れたところに案内し、話を聞きましょう。場所が変わったり、対応する人が変わったりすると、不安が和らぐこともあります。
- 相手の怒りの感情に引き込まれないように、落ち着いて対応し、本人の困っていることを傾聴し、ゆっくり穏やかに対応しましょう。
- 複数の職員で対応すると、相手に恐怖心を与え、余計に混乱したり興奮させてしまう場合があります。まずは1人で対応し、他の職員は距離を置いて見守りましょう。



### アドバイス

- 度々来店される方などについては、上手くいった接客や上手くいかなかった接客を職員間で共有しておくとうい良いでしょう。
- 急に興奮されるような症状は、専門医の受診が早急に必要場合がありますので、家族やケアマネジャーなどの支援者、あるいはいきいきセンターふくおかへの連絡も必要です。
- 興奮して杖を振り回す、暴力を振るうなど、従業員や他のお客様に被害が生じる可能性がある場合は、ためらわずに警察へ連絡しましょう。

# 店内に長時間滞在している(帰り道がわからなくなっている)

こんなことありませんか？

- ・買い物をする様子がないまま長時間店舗内にいる
- ・不安そうにキョロキョロと周囲を確認している



## 豆知識

### 認知症の人の見守りネットワーク事業

認知症の人が道に迷って帰れなくなった時に、早く発見し保護するために利用できる仕組みです。詳しくは右の二次元コードからご覧ください。



認知症の人の  
見守りネットワーク  
事業

## なぜこのような行動がみられるのか

- 認知症の記憶障害は直前のことが思い出せないため、何のためにお店に来たのか忘れているかもしれません。家族とはぐれたり、自宅への帰り道がわからなくなっている場合もあります。



## 対応のポイント

- 商品を探している場合もあるので、誘導をお願いします。口頭や指差しだけの指示は、さらに混乱する可能性があるので避けましょう。
- 帰り道が分からず困っておられるようであれば、連絡先を確認し、ご家族に連絡しましょう。持ち物などに名前や住所などが記載されている物があるかもしれませんので、本人に了承をもらい確認しましょう。
- 連絡先が分からない場合は、警察へ相談してみましょう。認知症の人は「警察」という言葉に緊張し、興奮される場合もありますので、「交番のおまわりさん」など、親しみやすい言葉を使いましょう。

## 緊急時連絡カード

各区社協事務所では、「緊急時連絡カード」を配付しています。このカード

は、外出先での事故や急病などで本人が連絡先等を伝えることができない時に役立ちます。

| ★緊急時★ 連絡カード |  |
|-------------|--|
| ふりがな        |  |
| カード所有者      |  |
| 住所          |  |
| 電話番号        |  |

福岡市社会福祉協議会

## IV. いきいきセンターふくおかとの連携の好事例

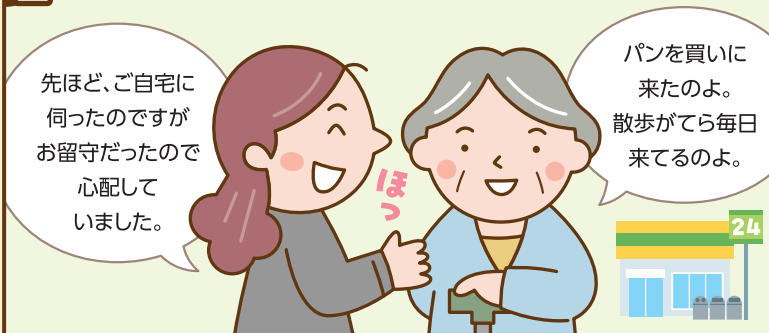
### 事例1

### 店舗の見守り協力でひとり暮らしの高齢者の救命ができたケース

1 ひとり暮らしの高齢者の家にいきいきセンターふくおかの職員が訪問。



2 職員が帰り道でお店から出てくる高齢者と出会う。



3 行きつけのお店の店員さんに見守りを願う。



### ケース概要

- 見守りが必要なひとり暮らしの高齢者をいきいきセンターふくおか(※1)が定期的に自宅を訪問していたが、本人に会えず、電話にも応答しないため安否を心配していた。
- ある日、本人の行きつけの店舗がなかったため、店員に見守りの協力をお願いしたところ快諾していただいた。
- 後日、店員からの知らせを受け、いきいきセンターふくおかが訪問すると本人が室内で倒れ、動けなくなっていた。救急搬送され、一命をとりとめた。

※1 いきいきセンターふくおか  
(地域包括支援センター)とは

福岡市が設置した高齢者(65歳以上の方)のための総合相談窓口です。  
詳細は、13ページをご参照ください。



## 事例2

# 店舗からの情報提供で、地域に見守られながら 住み慣れた家での生活が継続できたケース



## ケース概要

- 店員から高齢者の言動を心配する  
情報提供があった。いきいきセン  
ターふくおかが店舗を訪問すると、  
支援方法を検討中の高齢者である  
ことがわかった。
- 後日、個別支援会議(※2)を開催。  
関係者で情報を共有し、本人の見守  
り方法を検討。介護サービスの調整  
も行った結果、認知症があっても、住  
み慣れた家でひとり暮らしを継続す  
ることができるようになった。



## ポイント

いきいきセンターふくおかは、本人  
の自宅だけでなく、店舗に出向いてご  
本人と面談することもできます。すぐ  
に対応できないこともあります。本  
人の状況に応じて、支援方法を検討し  
ます。

## ※2 個別支援会議とは

高齢者一人ひとりの困りごとへの解  
決策を話し合うことを通じて、高齢に  
なっても安心して暮らし続けられる地  
域について、皆で考える場です。いき  
いきセンターふくおかが中心となり、地  
域の方々や介護・福祉・医療の専門職  
等で話し合います。

会議への参加は任意ですが、可能  
な範囲で参加にご協力をお願いいた  
します。

( 個人情報扱うため、会議の参加  
者には守秘義務があります。 )

# 認知症に関する問い合わせ・相談

## いきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)

いきいきセンターふくおかは、65歳以上の高齢者の総合相談窓口です。市内に57センター設置されており、保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーの資格を持つ専門スタッフが健康や福祉、介護などに関する相談を受けたり、その人の身体状況に応じたアドバイスを行います。

地域の小学校区ごとに担当のセンターが分かれていますので、どこのセンターに相談したらいいかわからない場合は、各区地域保健福祉課(裏表紙「各区保健福祉センターの窓口」欄を参照)へおたずねください。



## いきいきセンターふくおかの業務

### その1



### 高齢者に関する相談・支援をおこないます

介護や健康づくりに関する相談に応じたり、様々な制度や地域の資源を利用した支援をおこないます。

### その2



### 安心して暮らせるよう、高齢者の権利を守ります

財産の管理に関することや虐待の早期発見や防止に向けた取り組みを通して、高齢者の権利を守ります。

### その3



### 自立した生活ができるよう支援します

介護が必要な状態にならないよう介護予防を支援したり、自立に向けた介護サービスの利用を支援します。

### その4



### 高齢者が暮らしやすい地域づくりに取り組みます

地域の医療機関や介護事業所、区役所や社会福祉協議会、民生委員・児童委員など、様々な関係者と連携し、暮らしやすい地域づくりに努めます。



## 福岡市認知症フレンドリーセンター

認知症コミュニケーション・ケア技法ユマニチュード® など認知症に関する講座やARを活用した認知症の方の視野感覚の疑似体験を実施しており、誰でも自由に訪れることができます。また、「認知症の人にもやさしいデザイン」を全面導入しており、ショールームとしてもご利用いただけます。

【開館日時】 火～土曜日（祝日・年末年始を除く） 10時～18時

【住 所】 福岡市中央区舞鶴2-5-1 あいれふ2F

【TEL】 092-791-9115 【FAX】 092-791-9550



福岡市認知症  
フレンドリーセンター

## 認知症介護相談

認知症の人とその家族などからの相談に、介護経験のある相談員が電話や面談で相談を受けています。  
※認知症の介護相談は福岡県と福岡市が認知症の人と家族の会福岡県支部に委託している事業です。  
なお、同支部でも独自に相談を受けています。

| 事業名                       | 連絡先              | 開設している曜日 |   |   |   |   |   |    | 受付時間              |
|---------------------------|------------------|----------|---|---|---|---|---|----|-------------------|
|                           |                  | 月        | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日  |                   |
| ① 福岡市認知症介護相談              | TEL 0120-851-641 |          |   |   | ○ |   |   | 第2 | 13時～16時           |
|                           | FAX 092-771-8595 |          |   |   |   |   |   |    |                   |
| ② 福岡県認知症介護相談              | TEL 092-574-0190 |          |   | ◎ |   |   | ◎ |    | 11時～16時           |
|                           | FAX 092-574-0190 |          |   |   |   |   |   |    |                   |
| ③ 認知症の人と家族の会<br>福岡県支部電話相談 | TEL 092-771-8595 |          | ☆ |   |   | ○ |   |    | 10時30分～<br>15時30分 |
|                           | FAX 092-771-8595 |          |   |   |   |   |   |    |                   |

○…祝日・年末年始は休み 第2…第2日曜日のみ

◎…祝日も実施（ただし、クローバープラザの休館日は除く） ☆…第3火曜日は休み

※開催場所は、①と③がいずれも福岡市市民福祉プラザ（福岡市中央区荒戸3-3-39）で、②はクローバープラザ相談室（福岡県春日市原町3-1-7 4F）です。

## 福岡市成年後見推進センター

認知症や知的障がい、精神障がい等で判断能力が不十分な方が安心して暮らすことができるように、成年後見制度に関する相談を受けています。

【受付時間】 火～土曜日 9時～17時（祝休日・年末年始を除く）

【住 所】 福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ 3F

【TEL】 092-753-6450 【FAX】 092-734-2010



福岡市成年後見  
推進センター

# 各区保健福祉センターの窓口

## 地域保健福祉課

認知症をはじめ、高齢者の生活を支援するための相談、介護予防や健康づくり、地域の社会資源についての紹介を行っています。

## 福祉・介護保険課

高齢者の福祉、障がい者の福祉、介護保険に関する事務を行っています。

| 区   | 窓 口      | 所在地             | TEL      | FAX      |
|-----|----------|-----------------|----------|----------|
| 東 区 | 地域保健福祉課  | 東区箱崎2-54-27     | 645-1087 | 631-2295 |
|     | 福祉・介護保険課 | 東区箱崎2-54-1      | 645-1071 | 631-2191 |
| 博多区 | 地域保健福祉課  | 博多区博多駅前2-8-1    | 419-1099 | 402-1169 |
|     | 福祉・介護保険課 |                 | 419-1078 | 441-1455 |
| 中央区 | 地域保健福祉課  | 中央区舞鶴2-5-1あいれふ内 | 718-1110 | 734-1690 |
|     | 福祉・介護保険課 | 中央区大名2-5-31     | 718-1145 | 771-4955 |
| 南 区 | 地域保健福祉課  | 南区塩原3-25-3      | 559-5132 | 559-5135 |
|     | 福祉・介護保険課 |                 | 559-5127 | 512-8811 |
| 城南区 | 地域保健福祉課  | 城南区鳥飼6-1-1      | 833-4112 | 822-2133 |
|     | 福祉・介護保険課 |                 | 833-4170 | 822-2133 |
| 早良区 | 地域保健福祉課  | 早良区百道2-1-1      | 833-4362 | 833-4349 |
|     | 福祉・介護保険課 |                 | 833-4352 | 846-8428 |
| 西 区 | 地域保健福祉課  | 西区内浜1-4-7       | 895-7078 | 891-9894 |
|     | 福祉・介護保険課 | 西区内浜1-4-1       | 895-7063 | 881-5874 |

このパンフレットは、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、株式会社ローソン、株式会社ファミリーマート、イオン九州株式会社、公益社団法人認知症の人と家族の会、地域や認知症に関わる専門職の皆様のご助言とご協力のもとに作成しました。ここに深く感謝いたします。

編集：「中央区の認知症になっても住みやすいまちづくり事業」ネットワーク会議（事務局：福岡市中央区地域保健福祉課）

発行：福岡市福祉局ユマニチュード推進部認知症支援課

〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号 TEL 092-711-4891 FAX 092-733-5587

（令和7年7月発行）